

# しばたの男女共同参画通信

令和2年3月 Vol.4

## ■男女共同参画とは？

男女共同参画とは、英語で”gender equality（ジェンダーの平等）”といい、「男だから」「女だから」といった、性別の違いによる偏った考えにとらわれることなく、一人ひとりが自らの能力や個性を発揮でき、人として平等に認められていることをいいます。

そして、男女共同参画社会とは、「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」です。

男女共同参画社会が実現すると・・・男性も女性も意欲に応じてあらゆる分野で活躍できる社会になり、家庭生活が充実し、職場に活気が溢れ、地域活動にも参画することによって地域コミュニティが強化されます。

## ■トピックス

### ～柴田町男女共同参画パネル展を開催しました～

令和元年8月22日（木）～9月5日（木）の期間、柴田町役場1階町民ホールにて「柴田町男女共同参画パネル展」を開催しました。パネルには、「ありのまま。男だから、女だからにしばられない。自分らしく、その人らしくで良いんだ。これだって男女共同参画。」や「家族みんなで家事分担。手が空いた方がご飯をつくる。食事が進む、会話も進む。これだって男女共同参画。」など、合計8枚のパネルを展示しました。

私たちの日常生活の中で当たり前だと思っていることが、実は性差別や偏見に繋がっている場合があります。男性、女性だけではなく、LGBT、障害のある人、外国人など、いろいろな立場から考えてみるのが大切です。性別による固定的な意識や社会の慣習にしばられることなく、すべての人が尊重され、いきいきと活躍できる社会の実現を目指しましょう。



### ～SDGs 17のゴール 「ゴール5 ジェンダー平等」～

SDGsとは、2015年9月に国連で採択され、世界が合意した「持続可能な開発目標」(Sustainable Development Goals)の略称です。全世界の共通課題である、貧困や不平等・格差、テロや紛争、気候変動など様々な課題を2030年までに解決し、「誰一人として取り残さない」をスローガンに掲げ、世界の実現を目指すために、17の目標を設定しています。

SDGs 17のゴールの中で、男女共同参画と特に関連深い「ゴール5 ジェンダー平等」は、女性が性を理由に差別されないようにし、社会的に男性と同等の力を持つための取組みを意味しています。

この「ゴール5 ジェンダー平等」は、日本の最大の課題と指摘されている目標の一つでもあります。評価項目では、女性国会議員の少なさ、男女の賃金格差、家事などの無償労働を行う時間の男女格差などが最大の課題とされています。私たちはこの現状を真摯に受け止め、互いを尊重し格差のない社会を構築していかなければなりません。

5 ジェンダー平等を  
実現しよう



「ジェンダー」…人間が生まれつきもっている「生物学的性」とは別に、社会的・文化的に作り上げられた「社会的性別」のことをいう。社会や文化によって作り上げられた『女は女らしく/男は男らしく』や『女/男は、このように行動すべき』というような意識や慣習。

## ■LGBT をご存知ですか？

### ・LGBT とは？

LGBTとは、Lesbian（レズビアン、女性同性愛者）、Gay（ゲイ、男性同性愛者）、Bisexual（バイセクシュアル、両性愛者）、Transgender（トランスジェンダー、性別越境者）の頭文字をとった単語で、セクシュアル・マイノリティ（性的少数者）の総称のひとつです。

日本でのLGBTの割合は8.9%（電通ダイバーシティ・ラボ2018年調査）。これは、約11人に1人という計算で、左利きの人との割合とほぼ同じだといえます。同時に、「当事者であることをカミングアウトしていますか」と質問したところ、実に65.1%が「誰にもカミングアウトしていない」と回答しています。

### ・LGBT 当事者が抱えているもの

LGBT当事者の中には、性的指向や性自認をカミングアウトすることによって、「自分を偽ることなく生きたい」と思っている人が数多くいます。しかし、「カミングアウトをすると、これまでの人間関係が崩壊してしまうのではないだろうか」、「友人や職場の同僚から否定的な反応が返ってくるのではないだろうか」と悩んで、カミングアウトできない人たちがいるのです。

職場等において、LGBT当事者がカミングアウトしやすい環境をつくることは生産性を高めることにつながるという指摘がありますが、LGBTや、典型的ではない性別表現を嘲笑したり、からかいの会話が日常的にある環境では、カミングアウトすることは現実的に困難ではないでしょうか。

性的少数者に対する偏見や差別の例

- 「ホモ」「オカマ」「男らしくない」「女らしくない」などからかう
- 「どこかおかしいのでは」「問題があるのでは」「気持ち悪い」などとうわさ話をする
- 本人の了承なく、その人の性的指向や性自認について暴露する（アウトティング）



### ・私たちができること

誰もが自分の性的指向・性自認を尊重され、自分らしく生きることのできる社会をみんなでつくっていきましょう。職場や学校でできること、地域でできること、何があるか考えてみませんか。

#### ステップ1 多様な性について知る

専門家・当事者から話を聞く、研修会を開催するなど、性的指向・性自認に関する知識を持つ機会を設ける。

#### ステップ2 習慣・常識を変える

身の回りの習慣や常識となっている考え方を今一度点検し、性的指向・性自認に関する差別やハラスメントにつながるものはないか、見直しが必要なものはないか考えてみる。

#### ステップ3 理解者を増やす

組織内に、性的指向・性自認に関する知識を持つ理解者を増やす。理解者に対して「理解者、支援者」であることを目に見える形で行動することによって、当事者たちの応援の姿勢やメッセージにつながることを知らせる。

家族、学校、職場の中で、当事者が、「自分の居場所がある」と実感できる機会を増やしていくことがとても大切です。たとえ一人でも、きちんと気持ちを受け止めてくれる人、安心感を与えてくれる人がいれば、前向きな気持ちが生まれるものです。

性（セクシュアリティ）は多様です。そして、個人の尊厳にかかわる大切な問題です。SDGs17のゴールの中の「ゴール5 ジェンダー平等」を実現するためにも、私たちはLGBTを含む性的マイノリティについて知り、より理解を深めていくところから始めていきましょう。

#### ●ひとりで悩まずに相談しましょう

みやぎ男女共同参画相談室…男女共同参画に関するさまざまな悩みを相談できる窓口です。

- ・LGBT（性的マイノリティ）相談 TEL：022-211-2570  
毎月第2・4火曜 12：00～16：00（祝日・休日を除く）予約不要・相談無料
- ・一般相談 TEL：022-211-2570  
月～金 8：30～16：45（祝日・休日・LGBT相談時間を除く）相談無料
- ・男性相談 TEL：022-211-2557  
毎週水曜 12：00～17：00（祝日・休日を除く）相談無料
- ・宮城県女性相談センター（配偶者暴力相談支援センター）TEL：022-256-0965 月～金 8:30～17:00
- ・みやぎ夜間・休日DVほっとライン TEL：022-725-3660 夜間：毎週木・土曜 17:30～21:00  
休日：毎週日曜 13:00～17:00

